



小樽市色内に、「暗黒舞踏」の拠点で、村松友視の小説『海猫屋の客』の舞台背景となった二つの建物があり、色内通りを挟んでそれぞれ「海猫屋」と「万象館(旧魚藍館)」と呼ばれました。暗黒舞踏は、土方巽が創作したコンテンポラリーダンスで、剃髪、裸体、全身白塗の怪しい風貌で肉体を駆使した情念的な踊りを差します。土方の流れを汲んだビショップ山田の一派は、「北方舞踏派」を名乗り山形県鶴岡市で旗揚げし、さらに北を目指して小樽に辿り着きました。

小樽で彼らは、NDA 画廊の長谷川洋行から現代版画家・一原有徳を紹介され、一原は彼らの活動場所として、旧磯野商店が相応しいと提案しました。1976 年旧磯野商店を改装して「海猫屋」が開店、1 階喫茶店、2 階を稽古場にして、小樽に舞踏の拠点が誕生しました。さらに翌年旧前堀商店をシアター「魚藍館」として営業を開始し、舞踏公演を行うとともに観光客宿泊施設にしています。

一原は、1976 年当時に見た舞踏を、小樽を変えた一つのエポックとして振り返り、「痛嘆表現が多くて、時が動かない」「暗黒舞踏は照明が単色だが、舞台装置がすごかった」などと語っています。当館が位置する色内に起こった暗黒舞踏の二つの拠点には、版画家一原有徳の姿もあり、同じ瞬間を生きていました。

本展は、ビショップ山田の跡を受け継ぎ小樽で活躍中の舞踏家・田仲ハルの所蔵品、ならびに海猫屋店主増山誠の委託品による「暗黒舞踏ポスター」を展覧するものです。あわせて、舞踏の目撃者であり、彼らの刊行する印刷物に俳句や版画作品を提供した一原有徳、大畠裕の作品を同時に展覧いたします。

Collection ストーリー⑤目撃者・一原有徳
田仲ハル・増山誠所蔵品による

暗黒舞踏ポスター展

2024.2.29(木)▶3.3(日)

開業時の海猫屋：提供 増山誠

【関連事業】舞踏パフォーマンス 投げ銭歓迎！

田仲ハル × AkiYo × 佐藤リム

舞踏

舞踏・ライブドローイング

音楽

●日時：3月3日(日) 15:00~16:00
●会場：市立小樽美術館 1階市民ギャラリー

電話受付 市立小樽美術館 tel0134-34-0035



HAL TANAKA

舞踏家・グラフィックデザイナー・アパレルモデル。2017年札幌国際舞踏フェスティバル、つくば国際アーティストインレジデンス招聘。2018年台湾・インターナショナルダンスフェスティバル。北海道舞踏フェスティバル。2021年市立小樽美術館特別展開催。2022年アジア舞踏フォーラム招聘。九州・北と南をつなぐプロジェクト招聘。2023年オーストラリア BUTOH OUT! 招聘。



AkiYo

舞踏家・アーティスト。2017年田仲ハルに師事。2018年より現在まで北海道舞踏フェスティバル参加。2019年台湾・インターナショナルダンスフェスティバル、京都・継承と革新舞踏新時代。2021年月形権戸囚人監、囚人墓地での慰霊舞踏。2023年ソロ公演「うつろ舟」。関西ツアー。市立小樽美術館・クロスホテル札幌・シアター200などでドローイング展示、公演。



RIM SATOH

水煙草喫茶「冬虫夏草」店主。小樽商科大学4回生に在学中。2023年田仲ハルと出会い、2024年同店にて、「暗黒舞踏バー」を開催。イベントなどを協働で行う。

市立小樽美術館

〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号 tel 0134-34-0035